

街あるっく田原

街あるっく田原

第18号

- 蔵王山をもっと楽しもう♪
- 三河田原駅完成間近
- 長栄軒

平成25年9月17日(火)

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原

所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1

TEL / 0531-24-2345 URL / <http://www.tahara-tmo.com/>



見どころいっぱい

蔵王山をもっと楽しもう♪

田原市にある標高250.4mの蔵王山。この山は、三河湾国定公園の一部で、頂上からは360度の大パノラマの景色を満喫できます。蔵王山の名前は、日本仏教の仏、奈良県吉野町にある修験道の総本山蔵王堂にちなんで付けられたといわれています。

山頂までは山麓の東側、南側から道路が通っており、ドライブを楽しむことができ、麓の権現の森からは、展望台へと続くハイキングコースがあり、気軽に登ることのできる山として人気があります。山頂からは波静かな三河湾、雄大な太平洋を一望できるほか、空気が澄んだ日には、富士山や南アルプスの山々、御嶽山、伊吹山、御在所岳を眺めることができます。中でも、朝焼けに浮かび上がる富士山の景色は絶景です。

蔵王山のシンボルといえば、平成14年に山頂に設置された風力発電用の風車です。風の強さを利用した地球にやさしい自然エネルギー。安定して吹く風の力を利用して電気を作り出しています。作られた電気は、展望台の冷暖房や照明などに使い、余った電気は一

般家庭で使われます。年間の平均発電量は約90万kwhで、一般家庭約270軒分の使用電力量に相当します。

また、山頂からは建設中のメガソーラーを見ることができます。最近では、それらの工事の様子を見るために足を運ぶ方も多く、完成すれば蔵王山展望台は一大ビューポイントになるでしょう。

これからも、ますます目が離せなくなる蔵王山。この季節はまだ暑い日もありますが、山道で耳をすませば、コオロギやスズムシの鳴き声が響き、秋を感じることもできます。心地よい汗をかいたあとの素晴らしい眺望は格別です。ぜひ歩いて登ってみてはいかがでしょうか。

●メガソーラーの工事の状況を随時更新しています。

株式会社あつまるタウン田原
<https://www.facebook.com/>



蔵王山からの朝焼けと富士山





▲夏休みに、田原町在住の小学生6名が、蔵王山トレッキングに挑戦しました。

蔵王山の数多くある見どころの中でも、人気があるのがトレッキングです。ここでは、トレッキングと最近話題の新しいスポットをご紹介します。

蔵王山トレッキングに行こう!

蔵王山自然歩道の出発点となる権現の森は、三河田原駅から北西に約2km、徒歩20分のところにあります。権現の森に一歩入ると、昼間でも薄暗く、いよいよ山登りが始まるぞという雰囲気を感じられます。

● **スタート5合目は森林浴**
権現の森の大鳥居をくぐり、石段を

しばらく登ると、赤い鳥居の熊野三所権現が見えます。その先にはせせらぎが現れ、そっと覗いてみれば、サワガニに出会えるかもしれません。

丸太橋を渡り、枯れ葉で覆われた歩きやすい山道をしばらく進みます。ちよつと歩き疲れたら、ふくしば広場で一休み。ここが、ちよつど5合目です。ベンチやテーブルもあり、のんびりと休憩できます。

● **5合目〜頂上は景色を堪能**

再び出発し、15分程歩くと8合目。急に視界が開け、展望広場に到着です。天気が良ければ、眼下には田原市街地

話題のスポット愛染明王

最近では、蔵王山の8合目にある愛染明王が、縁結びのパワースポットとして注目されています。

愛染明王は、「あいぜんさま」「あいぜんさん」と親しまれ、家内安全、商売繁盛、厄除け開運、交通安全などで多くの人から信仰されています。手にハートを射抜く弓矢を持っていることから、縁結び、恋愛成就にご利益があるといわれ、特に女性の信仰を集めています。

や太平洋の素晴らしい眺望が楽しめます。背後には蔵王権現堂がたずみ、最近話題の愛染明王像が鎮座しています。そこから少し登ると、360度の眺望が広がる展望台に到着です。

● **展望台ではスイーツを味わう**
展望台で疲れた体を休める際には、ぜひオリジナルスイーツを食べてみてください。売店の店主が、季節ごとに考案したスイーツがおススメです。

● **帰路は冒険の道に挑戦**
帰路は同じ道を歩くこともできますが、5合目から急坂でロープを伝っていく冒険の道にトライするのも良いと思います。油断すると、滑って転ぶこともありますのでご注意ください。



▲愛染明王の「幸せ守り」と「は〜と絵馬」を、蔵王山展望台で販売中です。

10/13 日 蔵王山展望まつり開催
楽しい催しを準備してお待ちしていますので、ぜひご来場ください。

▼日時 平成25年10月13日 日
午前9時〜午後4時

※無料シャトルバス運行／中央公園発着

- **イベント案内 (時間/場所/内容)**
- **蔵王権現大祭** (午前10時〜午後3時/蔵王権現堂/ご祈とう、うどん・甘酒の無料配布、もち投げ)
- **蔵王山お茶会** (午前10時〜午後3時/蔵王園地 (雨天時は池ノ原会館) / 茶会 (抹茶・裏千家) 2席600円※前売りは500円)
- **集まれちびっこ権現の森** (午前10時〜午後1時/権現の森/餅つき、スタンプラリー、ポップコーン・綿菓子・花苗の無料配布など)
- **テント村** (午前10時〜午後3時/展望台ウッドデッキ・第二駐車場/幸せの四つ葉プロジェクトグッズ・手作り品・手作りパン・豚串・生ビール販売など)
- **ステージイベント** (午前10時〜午後3時/第二駐車場/渡辺華山紙芝居、吹奏楽、ステージショー、工作広場ほか)
- **お菓子投げ** (午前11時30分/展望台前芝生広場)

▼蔵王山展望台 ☎ 22局0426

スタートステーション
平成25年10月27日 新三河田原駅 OPEN

昭和30年代後半に計画された、臨海部と市街地を結ぶ道路が、約50年の時を経て平成25年10月、駅前大通り線として開通します。同時に、世界的建築家「安藤忠雄」事務所の設計による豊橋鉄道三河田原駅の新駅舎完成も伴い、中心市街地は大きく様変わりしようとしています。

あつまるタウン田原では、駅前が大きく変わろうとするこのタイミングを、"人が集い賑わう街"、"住んで賑わいのあるまちづくり"を!

中心市街地を創造・活性化させていくためには、地域住民、地元商店街、地域の生産者、商工会、行政などが手を取り合い、連携して力を合わせる必要があります。

私たちの住むこの街を、ますます魅力あふれる中心市街地に変えていきたいですね。

街なかでチャレンジ!
あつまるタウン田原は、今後も若い方や女性を中心に、「駅前周辺

当社では「みんなが幸せに」と願い、障がい者の就労支援と新たな観光地の創出、中心市街地の活性化などを目的とする幸せの四つ葉プロジェクトを立ち上げました。田原授産所が作成した四つ葉のクローバーを使ったお守りや絵馬を、蔵王山展望台の売店で販売しています。愛染明王像の前には、絵馬かけが田原区により設置され、地域と一緒にプロジェクトを進めています。蔵王山へお越しの際は、ぜひ愛染明王へも足をお運びください。

● **駅のコンセプト**

- 心の集まる場所 三河田原駅
- 穏やかさと動きを形に
- 田原を見渡す
- 市民と共にある駅

みたくなる街"になるきっかけにしたいと考えています。

で働いてみたい! 店を出してみたい!"という方を応援していきます。起業を目指す方や駅前周辺で店を出してみたい方、ぜひ夢を語り合い、いらしてください。

※お気軽にご相談ください

(株)あつまるタウン田原
☎ 24局2345

● 新三河田原駅の完成イメージ

長栄軒 河合 克之さん

●プロフィール

1968年、田原町萱町生まれ。名古屋商科大学卒業後、1年間、岡崎にある岡崎製パンにて修業。その後、長栄軒に入社。



▲ 8月8日で3周年をむかえた長栄軒の社長河合克之さんにお話を伺いました。



住 田原市田原町萱町 75 番地
☎ 0531-22-1271
営 8:00-18:00
休 毎週土曜日
駐 4台



長栄軒のお店の歴史

街なかにある「田原製パン長栄軒」。昭和16年創業で、祖父の代で会社を立ち上げ、今年で72年が経ちます。当時は汐川沿い（現在の平野酒店）辺りにお店を構え、アイスクャンディや和菓子を販売していたそうです。

お店の名前は、祖父が豊橋市老津町にある「丸栄製菓」（現在は、大判焼きで名が知られているお店）で働いていたことに由来します。のれん分けで「栄」の1文字をもらい、「長く栄えるお店」という意味で「長栄軒」と名付けたそうです。その後、学校給食のパンを作るためのパン工場を作ったことから「田原製パン長栄軒」となりました。

お店を出会いの空間へ

店内へ入ると、学校で見かける黒板やアイス、少し低めの子ども目線の可愛いディスプレイが目にとまります。街なかで「長栄軒」と聞くと学校給食を思い浮かべる人が多いことから、お店のイメージを「ひとつの教室」にしたのだとか。若い方から年配の方まで、広く楽しんでもらえる空間にしています。

「大好きなこの街に、ありがとうの気持ちを込めて。」お店の看板にも書いてあるように、人に感謝をすることをテーマにお店をOPENしている河合さん。気軽に立ち寄りやすい、地域にとって必要とされるお店となるように、「食べておいしく、見て楽しく、喜びを感じてもらえる」ようなお店とパン作りを目指しています。

挑戦する気持ちを大切に

平成25年7月、「幸せの四つ葉プロジェクト」へ参加し、渥美半島産のマスクメロンを使った「四つ葉メロンパン」を考案しました。プロジェクトメンバーからさまざまな意見をもらい、試行錯誤することが会社にとってプラスになると考えたそうです。その様子が、CBCテレビで放送され、わざわざお店を探して来るお客さんもいて、嬉しかったそうです。

今一番新しい挑戦は、この9月にセントファールへクレープ店を出店したことだと河合さんは話されました。これからの時代を生き残っていくためには、家業から事業へ転換していく必要があると考えていた時にお店の話があったそうです。新しいジャンルで不安もあったようですが、現在の長栄軒のスタイルを保ち、「人に楽しみを与える空間」を創りたいと思ったそうです。

子どもや地域のの人たちにとって「美味しい、思い出作りの空間」になると良いですね。

【次回のお知らせ】

今回は、長栄軒さんからバトンを受け取った「大谷屋食堂」村井芳水さんをご紹介します。



皆さん、お楽しみに♪